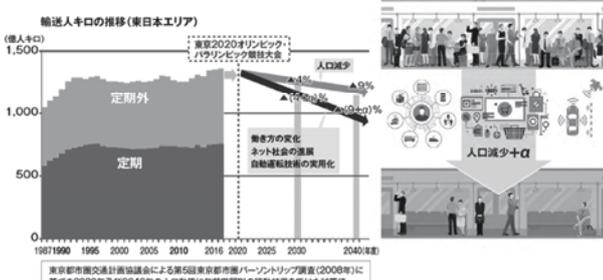


ライフサイクル制度、業務外注化、ダイ改合理化、基地統廃合、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

JRで働くすべての仲間、乗客、地域の方々... 誰のためにもならない！

1-1 変革2027の背景③

鉄道による移動ニーズの減少



社内外の大きな環境変化に伴って鉄道による移動ニーズが減少し、急激に利益が圧迫されるリスクに私たち一人ひとりが立ち向かっていかなければなりません。

箱」といわれ、鉄道業務すべてが別会社化されたら？ 将来への希望をもって就職できるでしょうか？ 会社は「急激に利益が圧迫されるリスクに私たち一人ひとりが立ち向かっていかなければな

運輸士・車掌廃止提案は安全をないがしろにし、地域から列車を奪い、JRで働くすべての労働者の権利を破壊する攻撃です。
地方ローカル線と安全の放棄だ！
「中長編成ワンマン拡大」は地方ローカル線切り捨てそのものです。そして、車掌削減は安全の放棄です。緊急時の安全確保や乗客誘導などをすべて運輸士一人で行えるはずがありません。地域の生活より、鉄道の安全より、利益を優先するなど許せません！
「人口減少で人材確保が困難」も完全なウソです。しかし、「現場第一線で働く者はJR本体に必要な」「管理職になれないならお払い箱」といわれ、

りません」といいます。儲からない路線は切り捨て、要員は徹底的に削減する。労働条件も切り下げる。そのために「地域住民とともに働く仲間」に立ち向かう社員が必要だということです。こんな不条理な職場にさせるわけにはいきません。将来の仲間たちのためにも、希望を持って働ける職場を守ろう。
利益優先、出世優先、反対！
「運輸法規の基本習得」「輸送障害対応」より「運転士から先のキャリア」「ワンマン化やドライバレス運転」への対応、「新たな輸送価値サービスの創造」を考えると、ますます募集要項からも「現場第一線」の言葉が消され、「マネジメントを担え」とされています。
現場で働いていても、つねに「マネジメントを担う人材」になることを考える。「安全より出世」「安全より価値創造」——これで鉄道の安全が守れるはずがありません！
鉄道に働く者として、あらゆる職場の仲間が垣根を越えて団結し、すべての職場から怒りの声をあげよう。職場からの真剣な闘いにこそ、地域の人々にこの攻撃の問題を伝え、社会問題化する力があります。
諦めさせることこそ会社の狙いです。すべての仲間は動労千葉とともに声をあげ、運輸士・車掌廃止提案を阻止しよう。